

新年度のごあいさつ

理事長 北林 百合之介

医療法人財団北林厚生会は2021年5月に法人設立70周年を迎えました。記念すべき年度ではありましたが、年度始めから、新型コロナウイルス感染症の、第4波（アルファ株）、第5波（デルタ株）、第6波（オミクロン株）がたて続けに襲ってきました。

感染対策については、患者さま、ご家族にもご協力をいただきながら、職員や家族、その周辺での感染状況の把握を徹底し、自宅待機期間をもうけてPCR検査を行う、抗原検査で陰性確認をしながら勤務を継続するなど、感染持込防止の取り組みを続けました。多くの病院で院内感染やクラスターが発生する中、2022年2月には残念ながら当院でも院内感染が発生しました。しかし、入念な準備が功を奏し、2人の感染で、約2週間で収束させることができました。3月には入院患者さまの多くに、3回目のワクチンを接種することもできました。

現在、世界は、コロナ感染症だけでなく、貧困、紛争、気候変動など、これまでになかった数多くの課題に直面しています。このような課題を乗り越えていくために、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、2030年までに達成すべき具体的な17の目標、SDGs（持続可能な開発目標）が立てられています。その中の3つ目に「すべての人に健康と福祉を」という目標があります。わが国では、精神科に受診されている患者さんは約400万人、精神障害者福祉手帳を取得されている患者さんは約100万人と、多くの人たちが精神障害に関する困難や悩みを抱えています。全ての患者さまが、障害があっても、差別や偏見を受けることなく、安心して、地域でごく普通の社会生活が営めるようにしていくことが、私たちに与えられたミッションです。

新年度も心を新たに、法人理念「思いやり」の精神で、この目標が達成できるよう、常に、患者さま、ご家族の視点で、法人職員全員で考え、協力して、日々のサービスの提供に努力していきたいと思います。



五条山病院 外来入口前の桜



サポートセンター「夢」前の桜



SDGs 第3のマーク

デイケアセンターより

》》》》》デイケアセンター「いけばなクラス」のご紹介

デイケアセンターのリハビリテーションプログラムのひとつである『いけばな』活動が、華道家元池坊^{いけのぼう}の指導者を対象とした会報である『花こみち』（令和4年2月号）に掲載されました。以下に、掲載された内容をご紹介します。

今後もしもいけばなを通して、多くの方々に笑顔と安らぎを届けることができたらと思います。

華道家元池坊『花こみち』掲載文

私の勤める医療法人財団北林厚生会五条山病院精神科デイケアセンターは、白鳳文化の薫る薬師寺と唐招提寺のある奈良市西ノ京にあります。心の病を持つ方が病気との付き合い方を学ぶ、社会参加や復学・就労などを目的にさまざまなグループ活動を行う通所施設です。その中でリハビリテーションの一環として、季節ごとに花をいけるプログラムを行っています。

感染対策をとりながら四季を感じる花材を使用して行い、毎回男女問わず30名以上の方が参加して下さいます。参加者からは「生きている花から元気をもらうことができた」などの声が寄せられます。いけばなはオアシスや器ごと持ち帰り、自宅でも楽しんでいただいています。

奈良は、聖徳太子が『和の精神』を唱えた地でもあります。私は『和の精神』とはあらゆる立場や属性を持つ人々が手を取り合う共生社会を目指すものと理解しています。心の病は誰でもなりうるもので、珍しい病ではありません。そして、その回復においては『人との和（繋がり）』が重要となります。コロナ禍で人との繋がりが希薄になりがちな今の世の中だからこそ『和の精神』を基とする池坊いけばなはひとときわ輝くのではないのでしょうか。これからも奈良の地で、日常への感謝と祈りを忘れずに花をいけていこうと思います。

池坊芦屋支部 西源太（精神保健福祉士）



春のいけばな『はついけ式』

春のいけばなを3月3日（木）と26日（土）の2日に分けて行いました。今回も両日合わせて、30名以上の方にご参加をいただきました。

華道では、年始にいけるいけばなのことを『はついけ』と言いますが、今年はオミクロン株の大規模な流行があったこともあり、2月に行くことになりました。

参加いただいた皆さんに安心してお花をいけていただくために、マスクの着用や換気を徹底し、はさみの消毒や座席の間隔を空ける、席の横にアクリルボードを設置するなどの感染対策を入念に行った上で行いました。

花材は、桃色のカーネーション、赤や黄色のガーベラなど春の息吹が感じられるものです。器は水色や若草色のマグカップを使用。そこにリボンシールを好きな位置に貼って、飾り付けをしていただきました。

参加者の方からは「コロナで暗いニュースが続いていますが、お花はどんな時でも咲き、元気をもらえます。いけばなができてほんとに嬉しいです」等のお声をいただきました。

毎回大好評のいけばなですが、今後もデイケアセンターでは季節ごとに花をいけていきます。興味のある方は、お気軽に西（担当）まで、お声かけください。



リハビリテーションにおける“いけばな”

リハビリテーションとしての“いけばな”について考えると、まず命あるお花に触れることで、季節を感じることができ、いける方の体を自然と癒す力があると思います。また、いける際にお花を切る長さや配置に関する決断力、いける過程における集中力を養うことができます。さらに、出来上がった作品を通して、言葉では表せないその方ならではの個性を表現する力を促進することもできます。このようにリハビリテーション（機能回復）という観点からも、“いけばな”には大きな力があるように思います。



プログラムは、随時見学・体験できます。

ご希望の方は、デイケアセンターまでご連絡下さい。

TEL : 0742-44-7660



- ◆ 診療科目：精神科・心療内科・内科
- ◆ 診療時間：月曜日～土曜日（予約制）
午前 9:15～12:00
午後 12:45～15:00
- ◆ 受付時間：月曜日～土曜日
午前 9:00～16:30
（※診察は初診も含めすべて予約制です）
- ◆ 休診日：日曜日、祭日
年未年始（12月30日～1月3日）
5月1日、8月15日

- ◆ 病床数
・精神科急性期治療病棟 51 床
・精神一般病棟 53 床
・精神療養病棟 270 床
- ◆ 関連施設
・デイケアセンター
・サポートセンター「夢」
・相談支援事業所「夢」
・訪問看護ステーション「ののはな」

診察担当医（令和4年4月現在）

◆女性の医師 診察担当医は予定です。変更される場合があります。予めご了承下さい。

	診察時間	月	火	水	木	金	土
1 診	9:15 ~ 12:00	山 元	神 谷	北 林	上 田	林 田	上 田
2 診	9:15 ~ 12:00	神 谷	北 林	山 元	駒喜多	町 澤	速 水
3 診	9:15 ~ 12:00		速 水	町 澤	中 前	田 添 9:45～ 12:00	田 添 9:45～ 12:00
	12:45 ~ 15:00	駒喜多	中 前		榊 原		榊 原

お問い合わせ

- 当院では**完全予約制**を導入しています。診察は予約の順番にて行っておりますが、診察内容などで前後する場合があります。その際はご了承くださいますようお願い申し上げます。
- **初めて診察をご希望される方は**、お電話にて「**地域医療連携室**」までお問い合わせください。

☎ **0742-44-2411**（地域連携室） 受付時間：9:00～16:30

TEL 0742-44-1811 FAX 0742-47-5766 URL <https://www.gojouyama.jp>



アクセス

医療法人財団北林厚生会 五条山病院 〒630-8044 奈良県奈良市六条西 4-6-3

【近鉄奈良駅前・JR奈良駅前より】

奈良交通バス「奈良県総合医療センター行」で「六条山」下車すぐ（所要時間 40 分）

【近鉄橿原線 西ノ京駅より】

奈良交通バス「奈良県総合医療センター行」で「六条山」下車すぐ（所要時間 8 分）